

生誕120年 | 文京区立森鷗外記念館コレクション展

# 森茉莉

幸福な日々、書くという幸福



昔の記憶は、夢のやうに淡い。  
遠い、白い昔の夢は、底に熱でもあるやうに、  
幸福な想ひを内にひそめて  
私の胸の中に、満ちて来る。

『幼い日々』より



2023

7.14 金曜日 — 10.1 日曜日

文京区立森鷗外記念館 展示室2

休館日 7月24日[月]・25日[火] | 8月21日[月]・22日[火]  
9月25日[月]・26日[火]

※8月5日[土]は区民無料観覧日

(文京区在住、在勤、在学の方が対象。要身分証明書)

※本展覧会の最新情報は、記念館HP等でご確認ください。

10:00~18:00 (最終入館は17:30)

一般300円 (20名以上の団体240円)

- 中学生以下無料、障害者手帳ご提示の方と介護者1名まで無料
- 文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット(押印入)、友の会会員証ご提示で2割引
- その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。



文京区立  
森鷗外記念館  
Mori Ogai Memorial Museum

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4  
TEL 03-3824-5511  
<https://moriogai-kinenkan.jp>

# 森茉莉

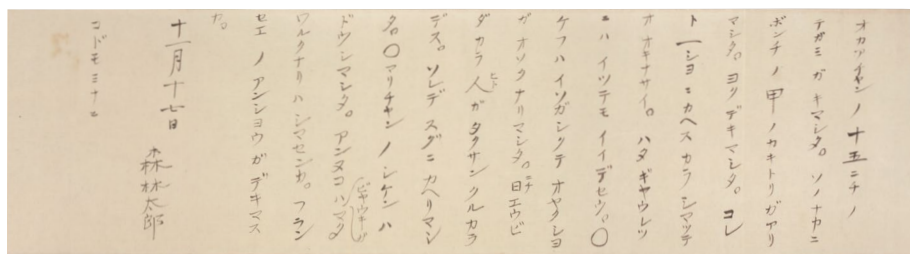


## 幸福な日々、 書くという幸福

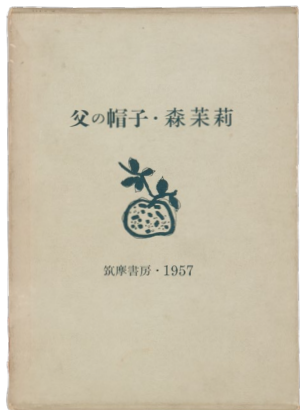
森茉莉（1903-1987）は、文京区千駄木の森鷗外の居宅・観潮楼（現・当館）で鷗外の長女として生まれました。大人しく少し病弱だった茉莉は格別に大切にされ、鷗外の膝の上で「お茉莉は上等」とありのままを褒められ、幸福な少女時代をおくります。1922（大正11）年19歳の時に、当時の夫・山田珠樹の留学するフランスに渡り、渡欧中に父・鷗外の死を知りました。

結婚、離婚などを経て、茉莉は翻訳や劇評、小説の執筆をはじめます。54歳の時、鷗外との思い出をまとめた『父の帽子』で日本エッセイスト・クラブ賞を受賞、以後『恋人たちの森』（田村俊子賞受賞）、『贅沢貧乏』、『甘い蜜の部屋』（泉鏡花文学賞受賞）、『ドッキリチャンネル』などの作品を書き続けました。鷗外から受けた愛情をそのままに持ちながら、ありのままの日常を愛し、自分のために生き自分のために書くことによってみつけた幸福な想いは、作品に独特で豊かな表現としてあらわれ、現在も多くの読者を魅了しています。

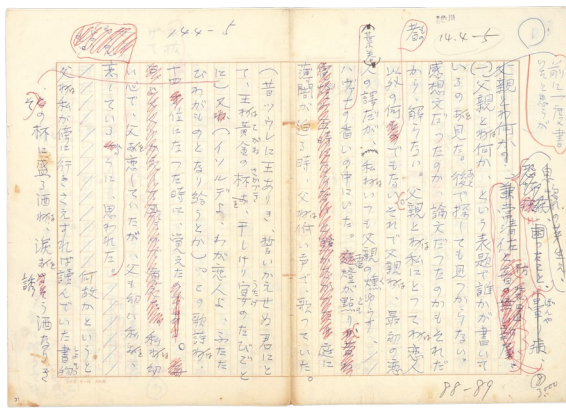
2023年は茉莉の生誕120年です。本展では、館蔵の鷗外資料、茉莉の原稿や著書を通して、観潮楼時代の茉莉、文学者としての茉莉を展覧します。



鷗外が出張先の奈良より子ども達に送った書簡 1918年11月17日付



『父の帽子』 筑摩書房 1957年2月刊  
茉莉の第一著作集

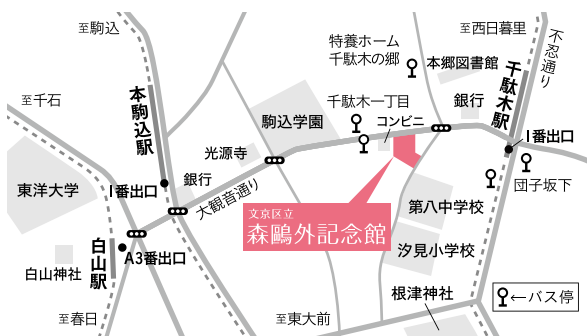


茉莉自筆『ドッキリチャンネル』連載234回原稿 1984年発表

## 文京区立森鷗外記念館

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4  
TEL 03-3824-5511 <https://moriogai-kinenkan.jp>

モリキネカフェ 10:30~17:30（ラストオーダー17:00）



### 交通案内

- 電車**
- 東京メトロ千代田線  
「千駄木」駅1番出口徒歩5分
  - 東京メトロ南北線  
「本駒込」駅1番出口徒歩10分
  - 都営三田線  
「白山」駅A3番出口徒歩15分
  - JR線・京成線  
「日暮里」駅西口徒歩15分
  - 都営バス草63番系統  
「千駄木一丁目」下車徒歩1分
  - 都営バス上58番系統  
「団子坂下」下車徒歩5分
  - B-ぐる千駄木・駒込ルート  
「19特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分
- バス**

※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

### 講演会

## 千年に一度の人、 森茉莉の世界

森茉莉の生き方や美意識を通して、燦めく多面体としての魅力に触れる。また、全集未収録の文明論を紹介する。

講師 島内裕子氏（放送大学教養学部教授）

日時 8月26日〔土〕 14時~15時30分

会場 文京区立森鷗外記念館 2階講座室

定員 50名（事前申込制）

料金 無料（参加票と本展覧会観覧券（半券可）が必要）

申込締切 8月10日〔木〕 必着

### 朗読会

## 生誕120年・森茉莉の世界

朗読 渡邊あゆみ氏

（NHKエグゼクティブ・アナウンサー）

日時 9月2日〔土〕 18時30分~19時45分

会場 文京区立森鷗外記念館 1階エントランス

定員 60名（事前申込制）

料金 1,500円

申込締切 8月19日〔土〕 必着

### 申込方法

往復はがき

往信に「〇月〇日イベント」・氏名（ふりがな）・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〈〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連イベント」受付係〉までご応募ください。

Eメール

件名に「〇月〇日イベント」、本文に氏名（ふりがな）・電話番号・Eメールアドレスを明記の上、[bm-k-event@moriogai-kinenkan.jp](mailto:bm-k-event@moriogai-kinenkan.jp) にご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様（お一人様1通まで）、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

### コレクション展ギャラリートーク

展示室にて当館学芸員が展示解説を行います。

日時 8月2日〔水〕、9月6日〔水〕

いずれも14時~（30分程度）

申込不要、当日の展示観覧券が必要です。

### 夏の子ども向けギャラリートーク

展示室にて当館学芸員と共に鷗外の生涯（常設展示）をめぐるります。

日時 8月19日〔土〕11時~（30分程度）

対象 小学校4年生から

申込不要、高校生以上の方は当日の展示観覧券が必要です。

### 特別展

## 千駄木の鷗外と漱石（仮）

2023年10月7日〔土〕~2024年1月14日〔日〕

夏目漱石は明治36（1903）年から約4年、千駄木に暮らしました。二大文豪と並び称される鷗外と漱石。二人の接点や交流を振り返ります。

次回展示